

いっしょに グループ

お客様の笑顔がうれしい

—中央病院案内ボランティア—



△ここここに記入して

市内には、数多くのボランティアグループがあり、「他人のため、そして自分のために」と、それぞれの目的を持って活動しています。

そこで今号より、生き生きと活躍されているグループにスポットを当て紹介します。

ピンク色のエプロンをトレードマークにしている私たち中央病院案内ボランティアグループは、昭和59年、新中央病院開院の年に誕生しました。

活動は2人1組みで月曜日から土曜日まで、毎日午前8時30分から11時30分までの間、用紙の記入説明、代筆、車椅子使用者の補助などをしています。

これまで多くの人に接してきましたが、自分自身の反省になることも多く、他人のためでもあり、自分のためになることを強く感じています。

今、月のうち1日を目標に60人の会員で頑張っています。病院でピンクのエプロンを見かけたら声をかけてくださいね。

問い合わせ 保健婦人センター内

ボランティアセンター ☎64-7100

秋も深まり野山でもブドウ、キノコなどが取れるころですね。最低気温も二十度以下となり、朝夕は寒く感じますが、冬から春に向かうころには同じ気温でも随分暖かく感じます。「心頭滅却すれば火もまた涼し」という言葉もありますが、人の体とは不思議なものです。

こちら編集室

富士の今と昔 ④3



校庭も広くなりました

音 木造2階建てモダンな玄関でした



昭和九年に新築された元吉原小学校の北校舎です。この校舎

で学んだ中村準策さん(大野新田)のお話。「昭和七年の台風で校舎が壊れたので建てかえられたんだ。校庭が狭かったので体育は浜で騎馬戦やドッチボールをよくやった。学校にプールが無かったけど泳ぎはうまいんだ。沼川の水が少ないとき、みんな橋の上から上級生に落されて、自然に覚えたんだけどね。そのころは海でも泳いだよ。」



富士わかば保育園年長組のお友だちの作品を紹介します。
トンボはぼく、ウサギはわたし、秋の野山で遊びます。
もう一つ作って施設にプレゼント。おじいちゃん、おばあちゃんが喜んでくれました。

▷とんぼの目玉は同じ様でも一つ一つちがうんだよね。

